

国語科学習指導案

第4学年

【単元】理由を明確にして意見文を書こう（『もしものときにそなえよう』光村図書4年下）

| 考察 | 知識及び技能 | 思考力, 判断力, 表現力等 | 学びに向かう力, 人間性等 |
|------------|---|---|--|
| 育成を目指す資質能力 | <ul style="list-style-type: none"> 考えとそれを支える理由や事例, 全体と中心など情報と情報との関係に関わる知識及び技能 ((2) ア) | <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして, 書き表し方を工夫する能力 (B (1) ウ) | <ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつよさに気付くとともに, 国語を大切に, 思いや考えを伝え合おうとする態度 |
| 児童の実態 | <ul style="list-style-type: none"> 文章を書く際に, 理由や事例とともに自分の考えを書くことについて理解している。 考えとそれを支える理由や事例との関係を考えながら文章を書く経験が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> 理由を説明する際には, 「なぜなら」や「～ためです。」等の表現を使って文章を書き表すことができる。 文章を書く際に, 伝えたいことを順番に並べて書くに留まり, 相手に伝わるように「考え」や「理由」「事例」を明確にして書く子が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えに理由を付けて書くことで, 読み手に思いや考えを伝えられることに気付いている。 書いた文章を, 相手意識をもって読み直し, 思いや考えがより伝わるようにしようとする子が少ない。 |
| 価値 | | | |
| 訪・考 | 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を捉えたり問い直したりして, 理由や事例を明確にして意見文を書くことのよさに気付く。 | | |
| 今後の学習 | 5年「調べたことを正確に報告しよう（『みんなが過ごしやすい町へ』光村図書5年上）」において, 過ごしやすい場所にするための身の回りの工夫について調べたことを同じ地域に住む附属小の仲間に伝える文章を書く学習へと発展していく。 | | |

指導と評価の計画

| | | | |
|-------|--|--|---|
| 目標 | 4年生の生活について振り返ったことを基に、北校舎のリーダーとして大切だと思うことについての考え（以下、「自分の考え」）が伝わるように、理由や事例を明確にして意見文を書くことができる。 | | |
| 話し動 | 4年生の生活で経験したことをまとめて、北校舎のリーダーとして大切なことを書く活動 | | |
| 評価規準 | (①知・技) 自分の考えとそれを支える理由や事例の関係について理解している。((2) ア) (②思・判・表) 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B (1) ウ) (③主体的態度) 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係について考え、学習課題に沿って意見文を書こうとしている。 | | |
| 過程 | 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
| つかむ | 1 | ○「4年生ハンドブック」のモデルを基に、理由を明確にして文章を書くことのよさを話し合い、学習課題をつかむ。 学習課題 3年生に北校舎のリーダーを引き継いでもらえるように、理由を明確にさせて意見文を書こう | ○理由を明確にして伝えることへの問題意識をもてるよう、4年生の学校生活の中で大切だと思うことを意見文としてまとめた、「4年生ハンドブック」のモデルを提示する。 |
| ふかめる | 1 | ○「4年生ハンドブック」完成までの学習計画を立てる。 | ○「4年生ハンドブック」の完成までの活動の見通しがもてるよう、学習計画を書き込むための学習計画シートを用意する。 |
| | 1 | ○『もしものときにそなえよう』で示されている意見文の書き方と、「つかむ」過程で提示した教師のモデル文を比較しながら、意見文の構成を確認する。 | ○考えと理由や事例の関係として、「初め」「終わり」に自分の考え、「中」に理由や事例を書くことが捉えられるよう、教師のモデル文を「考え」「理由」「事例」で色分けしながら読む機会を設定する。 |
| | 1 | ○4年生の1年間を振り返り、「4年生ハンドブック」の目次の内容を決め、意見文を書くためのテーマ（自分の考え）を設定する。 | ○意見文に書くためのテーマ（自分の考え）を絞ることができるよう、ハンドブックの目次の枠組みを提示する。 |
| | 4 | ○グループごとに以下の学習計画を繰り返し、意見文に書き表す。 (本時3/4) ①考えとそれに合う理由や事例を検討する。 ②考えとそれに合う理由や事例を書く。 ③書いた文を読み合って、書き直す。 | ○自分の考えに対する理由や事例の内容を考えられるよう、ウェビングマップの中心にグループのテーマを配置したシートを用意し、テーマに対する理由や事例を「Jamboard」上で共有する機会を設定する。 ○下書きを繰り返し修正できるよう、「初め」「中」「終わり」の構成で文字が打ち込める台紙を「スライド」上に用意する。 ○自分の考えとそれを支える理由や事例の確かさを得られるよう、推敲の視点（「3年生に伝わるよう、自分の考えと理由や事例がつながっているか」「自分の考えや理由、事例を明確にした表現の工夫が使えているか」）を決め、互いが書いた文章を読み合う時間を設定する。 ○自分の考えと理由や事例との関係に着目して文章を書けるよう、書いた文章を音読する機会を設定する。 |
| | 休み時間 | ○完成した「4年生ハンドブック」を3年生に渡し、読んでもらう。 | |
| ふりかえる | 1 | ○「4年生ハンドブック」を読んだ3年生の感想を基に、学習の成果を伝え合う。 | ○自分の考えとそれを支える理由や事例の関係を明確にして書き表し方を工夫すると、読む人に伝わる文章となることが実感できるよう、3年生に書いてもらった感想を読み合う機会を設定する。 |
| | | | 評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」 ◇理由を明確にして書くと、自分の考えが伝わりやすくなることに触れながら、学習課題について発言したり、記述したりしている。 <発言・ノート③> ◇学習計画の一部として、意見文の構成を確認したり、自分の考えを決めたりすることについて発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント③> ◇「初め」「終わり」に自分の考え、「中」に理由や事例を書くことについて記述している。 <ロイロノート②> ◇北校舎のリーダーとして大切なことに照らし合わせながら、ハンドブックに必要なテーマ（自分の考え）について発言したり、記述したりしている。 <学習プリント②> ◇設定したテーマ（自分の考え）に合わせて、「中」に書くこと（理由や事例）をウェビングマップに記述したり、グルーピングしたりしている。 <Jamboard①> ◇「Jamboard」上で整理した情報を基に、自分の考え（「初め」「終わり」）と理由や事例（「中」）を書いている。 <スライド②> ◇3年生に伝わるか等の推敲の視点を基に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係に着目して、文章を読み直したり、書き直したりしている。 <スライド①> ◇考え（「初め」「終わり」）と理由や事例（「中」）の内容とがつながる文章を書いたり、それらの関係を明確にして、文章の書き表し方を工夫したりしている。 <スライド②> |
| | | | ◇学習課題の解決状況に関わって、自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして意見文を書けた成果について記述している。 <ノート③> |

本時の学習（7/9時間目）

ねらい 北校舎のリーダーとして大切だと思うことについての自分の考え（以下、「自分の考え」とその理由や事例の関係について、互いの考えを聴き合いながら文章に書き表すことを通して、自分の考えとそれを支える理由や事例の関係を捉えることができる。

評価項目 3年生に伝わるか等の推敲の視点を基に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係に着目して、文章を読み直したり、書き直したりしている。 <スライド①>

| 学習活動と子どもの意識 | 指導上の留意点 |
|---|--|
| <p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>・ 前回は、「周りを見て行動することが大切である」という自分の考えと、「社会科見学や林間学校で、クラスでまとまって行動するときがある。」という理由を書いたな。今日は、友達に読んでもらって、これでいいか確認しよう。 (課題意識)</p> | <p>○前時までの自分の学習の進捗状況を学習計画と照らして振り返れるよう、学習計画を提示した上で、前時に書いた振り返りの記述を読み返すよう促す。</p> <p>○相手意識や目的意識を基にした本時の学習の課題意識をもてるよう、本単元名である「理由を明確に」する意味を問いかける。</p> |
| <p>めあて：3年生が「なるほど」と思えるように、自分の考えと理由の内容を考えよう</p> | |
| <p>2 「はじめ」「中」「終わり」に合わせて下書きを書いたり、書いた文章を読み合ったりして、文章を書き進める。</p> <p>・ 3年生に「なるほど」と思ってもらえるような意見文にするためには、考えと理由や事例で説明している内容が合っている必要があるのか。自分の文章はどうだろう。</p> <p>・ ペアの子から、「クラスでまとまって行動するときがあるのは3年生も同じじゃないかな。」って言われたよ。理由の内容が合っていないのかな。</p> <p>・ ペアの友達の文章を読むと、考えと理由が繋がっていて3年生も「なるほど」と思える文章になっているな。私の文章は理由と具体例で同じことを書いているから、この二つのことを分けて考えていかなきゃいけないのか。</p> <p>・ 他のペアの文章を見ると、理由の後に具体例を書いてさらに詳しく説明しているな。私も、具体例として社会科見学や林間学校のことを書けばいいから、理由の書き方が変わってくるな。</p> <p>・ 「周りを見て行動することが北校舎のリーダーとして大切である」ということを説明するための理由だから、「どんなときでもまとまりのあるクラスや学年になるから。」と書き直せばよさそうだな。</p> <p>・ 3年生が「なるほど」と思えるような文章にするには、考えと理由や具体例が繋がっている必要があるし、北校舎のリーダーとして大切なことになってることが大切なんだな。 (課題を解決した意識)</p> | <p>○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係に着目して文章を推敲することができるよう、北校舎のリーダーとして大切だと思う自分の考えが、3年生に伝わるような内容にするために必要なことを問いかける。</p> <p>○友達の書く考えと理由や事例との関係に着目できるよう、似た考えの子ども同士でグループを構成し、アプリケーション「スライド」上で見合うことができるようにし、互いの意見文を読み合うよう促す。</p> <p>○自分の考えに合った理由や事例を考えられない子どもが、粘り強く文章を書き直すきっかけを得られるよう、推敲の視点をういながら、「スライド」上のグループの意見文や、「Jamboard」上にある、理由や事例を参考にしよう助言する。</p> <p>○自分の考えと理由や事例の関係を明確にするために、書きあがった文章を、「自分の考え」を赤で、「理由」を青、「具体例（事例）」を緑で色分けし、自分の考えと理由や事例を分類するよう促す。</p> <p>○自分の考えに合った理由の書き方を考えられるよう、活動が停滞している子どもの文章を意図的に取り上げ、理由の内容を考えるとときの視点を問いかける。</p> <p>○書き直した文章が、自分の考えと理由や事例が繋がっている文章になっているか確かめられるよう、推敲の視点をういながら、書き上がった文章を再度読み合うよう促す。</p> |
| <p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>・ 3年生に北校舎のリーダーを引き継いでもらえるような文章になったな。初めに見た先生の文章は理由が二つあったからもう一つ理由を書いて詳しくしたいな。</p> | <p>○学習の達成感や課題を実感し、次時の学習への見通しをもてるように、「できたこと」「次の時間に取り組みたいこと」の視点を基に、ノートに本時学習したことを振り返って考えたことを記述するよう促す。</p> |